

昭和女子大学 一般選抜対策講座 (駿台予備学校現代文科講師 今井愛子)

A 出題傾向

a 形式 60 分大問 2 題

第一問【現代文】は必須須問題・第二問【古文】または第三問【現代文】のいずれかを選択

b 本文 字数……約二〇〇〇字〜約三〇〇〇字程度と、幅広い

出題……評論

出典……A 日程第一問 谷川嘉浩『人生のルールを外れる衝動のみつけかた』

第二問 脇明子『読む力が未来をひらく——小学生への読書支援』

B 日程第一問 河野哲也『道徳を問いなおす——リベリズムと教育のゆくえ』

第三問 若松英輔「AI 時代のことば力 沈黙のすすめ」

難易度……標準

c 設問

難易度は標準であり、オーソドックスな設問が中心。選択式と記述式の両方が出題される。

漢字、語彙、傍線部の内容説明、傍線部の理由説明、接続詞補充、空所補充、内容合致、表現、文法、文学史が出題される。

B 対策

a 読む力

文章は標準だが比較的分量が多く時間を必要とする可能性があるため、きちんと訓練を積みたい。現代文はまず課題文の内容を理解することが必要であり、読んでいる段階で理解が不十分な場合設問を解けないため、しつかり文章に向き合ってその内容を読み取ることが求められる。正しい読み方を身につけていこう。

評論のテーマは多岐に渡るので、過去問を中心に様々な文章を読んで慣れる必要がある。

b 解く力

基本的な設問で失点をしないよう注意したい。
特に傍線部の内容説明や内容合致問題は「a 読む力」によるところが大きいため、焦らずまずは本文の内容をじっくり読み取ろう。

c 語彙力

漢字や語彙の問題は、分量は多くないとはいえ出題されるし、語彙力向上が読解力向上につながるため、きちんと対策したい。
学習の際は漢字の形だけではなく、意味も併せて覚えよう。

C 具体的な練習方法

過去問を利用し、練習を積む。

まずは時間をはかり、設問を解く。その後答え合わせをする前に、もう一度じっくり本文を読み返し、答えを出してみる。その際、解答根拠を明確にしたい。その上で答え合わせをし、1 度目と 2 度目の得点の差を含め本文を検討する。最後に、漢字や語句の意味など暗記すべき知識を確認する。

☆評論読解のポイント☆

ポイント①

大事なことは、繰り返される。

大事なことは、形を変えて繰り返される。

↓「大事なこと」＝「筆者の主張」

↓「大事なこと」に、線を引きながら読み進める。

ポイント②

話題を、かたまりでつかむ。

↓「どこからどこまでが同じ話題か」を考える。

ポイント③

具体例は、筆者の主張を理解するための道具。

↓「たとえば」で始まる部分など、具体的な内容は（ ）でくくる。

↓具体例は軽く読む。具体例の前後に書かれている主張を、丁寧に読む。

ポイント④

指示語の指示内容は丁寧に把握する。

ポイント⑤

「たしかに」しかし」構文は、「しかし」の後が大事。

言葉の意味

A日程第一問

(一)問1 研鑽：磨き深めること。

(二)問2 胸を借りる：自分よりも実力や経験が上の相手に、練習や稽古の相手をしてもらうこと。

問4

あとは野となれ山となれ：目先のことが済んでしまえば、後でどんな結果になろうと構わない。
火のないところに煙は立たぬ：根拠のないうわさは立たない。

案ずるより産むがやすし：あれこれと心配するよりも、実際にやってみると案外簡単に物事が進む。
立つ鳥跡を濁さず：立ち去る者は、後が苦しくならないようにきちんと始末をしておくべきだ。

引き際がさっぱりと潔いことのたとえ。

のど元過ぎれば熱さを忘れる：苦しいことでも、過ぎ去ってしまったはその苦しさを忘れてしまうこと。

B日程第一問

(二)問4 蛇蜂取らず：欲張りすぎて失敗すること。

一挙兩得：一つのことをすることによって二つの利益を収めること。一石二鳥。

海千山千：世間の経験を積み、ものの裏側まで知り抜いて悪賢いこと。そういうしたたかな者。

栄枯盛衰：人や物事が栄えたり衰えたりすることを繰り返す様子。

二束三文：数が多くても値段が非常にやすいこと。そういうもの。